

見つめる目

しなやかな心

医療を支える 看護の手

**看護部だより**

2016 年  
06 月号  
第 302 号

特定医療法人衆済会  
増子記念病院  
看護部  
部長 上村 志磨子  
(認定看護管理者)

## 「環境問題」－私たちにできることを！

増子クリニック 昂 課長

6 月前にも関わらず「夏日だ」「真夏日だ」と世間で言われています。異常気象の日本列島の四季が今や二季と言われるほどだそうです。皆さん体調を壊していませんか？私自身は少しずつ体力の衰えを感じ「古い」を意識し始めています。今回のテーマを「老いる事」あるいは元気を取り戻すために「生涯現役」について考えようか悩んでいたのですが、今年、「伊勢志摩サミット」が開催され、ニュース番組のサミット報道を観ていて考えていたことを自分なりにまとめてみたいと思います。

### 1 はじめに

各国首脳が集まり、国際社会が直面する様々な問題について話し合うべく毎年開催されているのがサミットで以前は 8 か国でしたが、ロシアが参加停止となり 2014 年からは「G7 サミット」として 7 か国で開催されているそうです。「G7 サミット」とは日、米、英、仏、独、伊、加、の首脳、欧州理事会議長及び欧州委員会委員長が参加することです。経緯は、1970 年代の第 1 次石油危機やニクソン・ショックなどから「世界経済問題に対する政策」を首脳レベルで議論する必要があると考えられたことです。1975 年 11 月に第 1 回目が開催され、議論することの重要性が認識され、各国持ち回りで議長国を務め首脳会議をすることが決められたとのことです。日本では計 6 回開催となり、今回が「伊勢志摩サミット」と呼ばれています。

また、サミットは 2 日間だけではなく、すでに関連会合は 4 月から始まっているとのことです。「伊勢志摩サミット」では①世界経済・貿易 ②政治・外交問題 ③気候変動・エネルギー ④保健「感染症対策」が議題となり話し合われるそうです。

私はその中でニュースを見ながら地球温暖化や環境破壊に今、自分たちが対策をとること考えなければならぬと痛感しました。

### 2 地球温暖化に考えさせられて

地球上の平均気温や海水温度が上昇する地球温暖化。原因として「温室効果ガス」が大きな要因とされています。二酸化炭素やメタンなどの気体がこの性質を持っているそうですが、私たちが利便性を求めるがゆえにできた産物が温暖化を促進したとも言われます。皮肉なものです。海水温と台風の関係では南の海の水蒸気が増加し急速に成長したスーパー台風が放映されていま

した。2013 年の 11 月、フィリピン、ギワンの台風 30 号の壮絶な状況で、犠牲者 7000 人以上、100 万以上の家屋の破壊とされる大災害、今なお暗い影に怯える住人達。

私が生まれたころ、伊勢湾台風でこの地方は大変な思いをしてみました。温暖化が続くと 60 年後にはスーパー台風が日本にも訪れると言われていました。年々海水温度が 2 から 3 度上昇しているとも言われ、危機感を持ち環境保護を議論し対策を講じていかなければなりません。

196 か国が温室効果ガス削減を約束されたとのことです。2020 年以降の温暖化対策の国際枠組み「パリ協定」を正式に採択した。「パリ協」を早く発効させるようサミットで話し合うと言われていました。

### 3 私たちは何を？

各企業では現在温室効果ガス削減のため色々な技術開発に取り組んでいるようです。デンソーではメタボな藻から油を作るバイオでできた、バイオ燃料が、森林のおよそ 10 倍、体の 30% 二酸化炭素を吸収する。車の燃料として実用化できるよう開発中で低価格で販売できるよう検討中とニュースで聞きました。

ところで私たちが今できることは何かあるのでしょうか？日頃の生活の中で考えてみました。家庭または企業から出るゴミ問題、町の緑化を目指し植林の活動を増やすよう努める。電気の無駄遣い、我が家は今年太陽光を取り入れましたが、車生活の私は車の利用を少なくして健康のため歩きましょうか？

まず私たちは環境を大事にして常に考えることが重要なことだと認識しました。

実際、色々な方が努力されています。「私一人ぐらい頑張らなくても」との思いは持たず、私も努力する一員になりたいと思います。

サミットの最中に考えさせられた自分自身の問題です。 以上

## 学生コーナー

### 理想の看護師を目指して

#### 3 階病棟

気が付けば、いつの間にか最高学年となっていました。地元長崎から離れ、1 日いちにちをこなすことで必死だった 1 年目。後輩が出来、2 年目も仕事のことが頭の中でいっぱいでした。仕事が楽しいと思うようになった 3 年目。そして、4 年目となった今は、来年の国家試験に向け、休職に入らせていただいています。

正直、今まで仕事と学校の両立というものが出来ておらず、いつの間にか仕事のことばかり考えており、帰ってからも「今日の仕事はどうだったな～」と考えることが日課となっていました。

入社したばかりの時、「学校だけの生活だったらどれだけ楽だっただろう」そう思っていました。しかし、いざ休職が近づくとつれ、休職したくないと考えている私がいて、仕事をする毎日が当たり前で、仕事をするのが好きだったと再認識しました。休職に入ることを知ってみえた患者さんが泣きながら「さみしくなるね。頑張ってるね。」と言って下さり、毎日、患者さんと関わり、学生として出来ることはわずかだったけれど、喜んでくださる方々がいたことで働くことが好きにな

っていたのだと思います。

私は、小児科で働き子供たちを助けた。そう思い、看護師を志しました。だから、最終的には小児科で働かなければ意味がない。とまで思っていました。しかし、増子記念病院で働き、また実習をさせて頂くなかで、あらゆる年代の方々と関わらせていただく機会があり、いつか色々な分野で働きたいと思うようになりました。

学校に通うことの方が幸せと思っていた私でしたが、仕事をさせて頂いたことで、視野が広がり、入社以前よりも「看護師になりたい」と思う気持ちが強くなりました。「優しい看護師」というのが理想の看護師像でしたが、いま私は「患者さんの気持ちがくみ取れる看護師」になりたいです。

言葉を上手く話せない方・感情をうまく表出できない方、様々な人がいますが、気持ちを理解したうえで患者さんに寄り添えることが安心感を与えることが出来るのではないかと思います。

今は、実習の毎日で、眠れないこともあります。最終的にたどり着くのは、やはり「看護師になりたい」という想いです。看護師さん方はすごく大変そうですが、看護師になってよかったと思えるような毎日を過ごしたいです。そう思うためにも、今は来年の国家試験に向け、合格できるように、しっかり勉強に取り組んでいこうと思います。

以上

### 看護部だより 5 月号感想 第 2 透析室 白井 恵未

5 月病に注意を！読んでこの病院に就職したことを思い出しました。新しい職場での環境の変化に日々格闘していました。格闘するなか、仕事に行くのが嫌な時期があり、憂鬱な気分になっていました。その中で習い事を始め、オンオフの切り替えができたことで憂鬱な気分から脱却でき、仕事へ前向きに取り組めたと思います。プライベートを充実させることは、気持ちに余裕ができ仕事にも意欲的になれるのではないかと今回の記事を読み思いました。今後も仕事とプライベート、オンオフを切り替え、5 月病へ打ち勝ちたいと思いました。

以上

### アメリカ大統領のヒロシマ訪問

は今年の 10 大ニュースの 1 つに間違いなく入るでしょう。「伊勢志摩サミット」はそういう点でも歴史に残る出来事として人々の記憶に刻まれることでしょう。

世界の政治的指導者が一堂に会するためには物々しい警備体制が敷かれます。そのことは、世界が「対立と抗争」の真ただ中にあることを意味しています。

争いごとは力ではなく「法と道義」により解決する方向に向かって欲しいものです。